



リリースノート

バージョン:	15 Upgrade #1 WorkWithPlus for Web / WorkWithPlus for Native Mobile
更新日:	2023 年 7 月 11 日
互換性:	GeneXus 18



概要

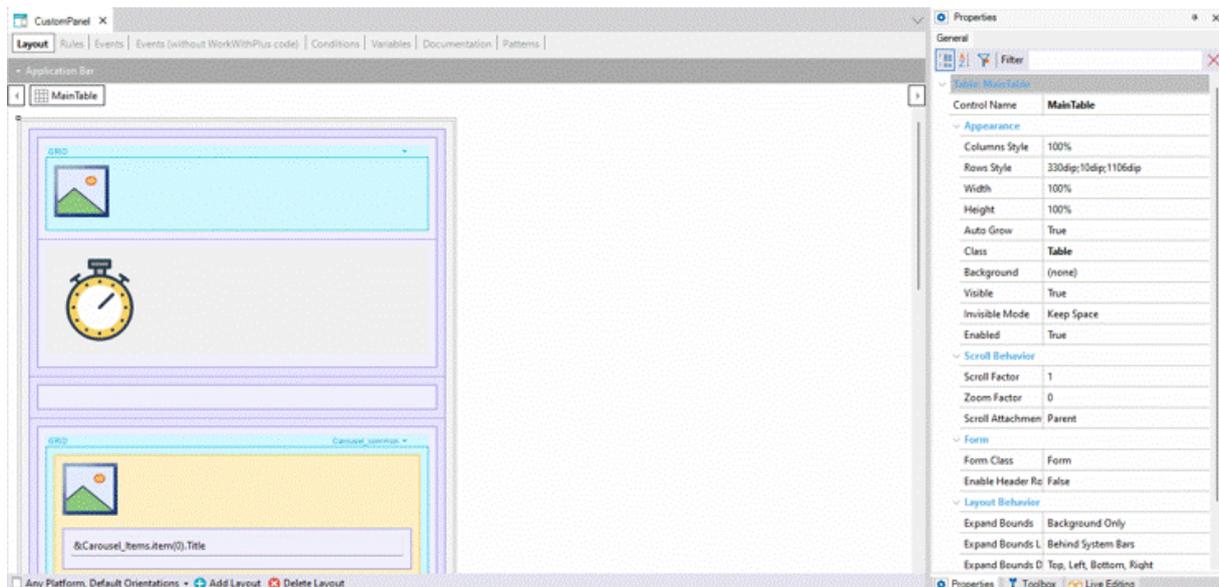
レイアウトから WorkWithPlus インスタンスを作成可能	3
Sketch または Figma からのインポート	3
別のパターンからの移行	5
作業中のプロジェクト	5
複数のリストビュー	6
WorkWithPlus のサービスレイヤー	7
パッケージ化された GAM バックエンド	8
アニメーション要素	11
Animated Elements ノード	11
Animated Element のプロパティ	12
Animated Element のタイプ	13
Animated Element のコンテンツ	15
Detail Web Component の複数のアクション	16
外部オブジェクトに基づくグリッド	17
トランザクション用の WorkWithPlus for Native Mobile	17
ライブ編集	21
GAM が含まれていない KB での Notifications と Discussions モジュールの使用	22
ExportCSV アクションの [Trim Numeric Values] プロパティ	22
Event Subscriptions を使用した拡張ユーザーの処理	23
GAM User Data の冗長化	23
Native Mobile のデザイン システム ウィザードの改善	24
新しいデザインオプション: タブ位置のカスタマイズ	24
ユーザーの最後のカスタマイズ	24
生成されたオブジェクトを変更せずにデザインを更新	25

WorkWithPlus 15 Upgrade #1

新機能

レイアウトから WorkWithPlus インスタンスを作成可能

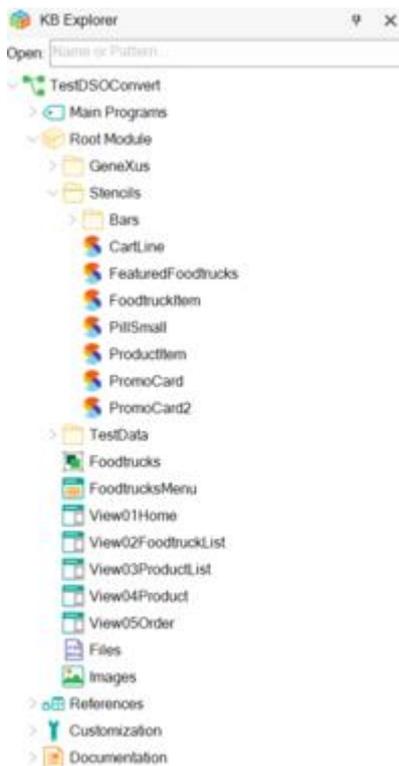
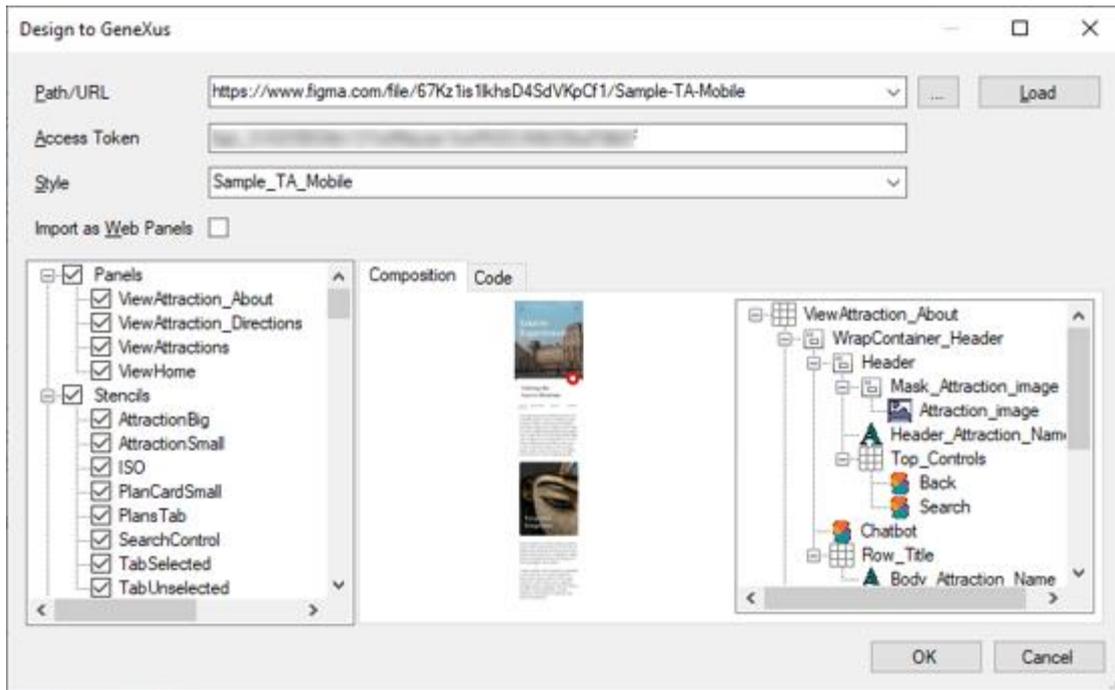
このバージョンの WorkWithPlus には、レイアウトからインスタンスを作成する機能が追加されました。これにより、Web パネルが既に作成されている場合（デザイナーによってデザインされた場合など）、関連付けられたインスタンスを作成し、WorkWithPlus を使用してそのインスタンスで作業を続けることで、すべての機能を最大限に活用し、はるかに簡単な方法で維持することができます。



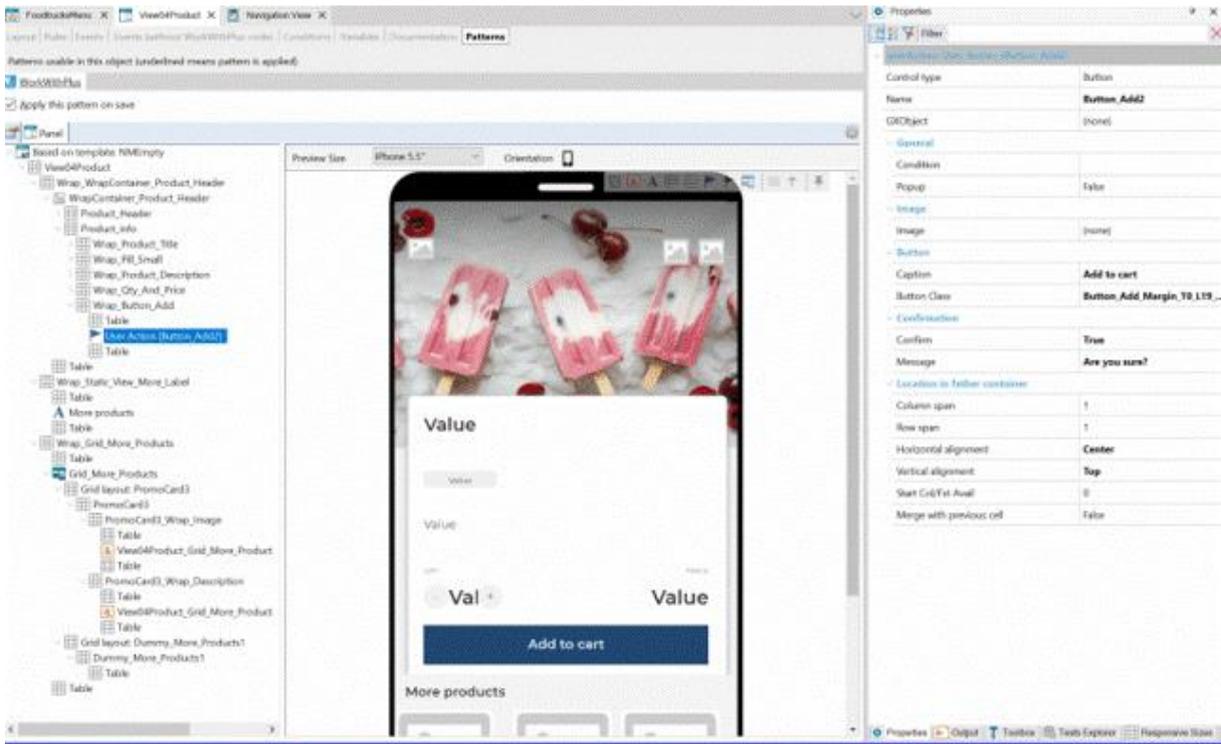
この機能は、次のようなシナリオでも役立ちます。

Sketch または Figma からのインポート

アプリケーションデザインを開発するためにこれらのツールのいずれかを使用している場合は、GeneXus が提供するツールを使用してレイアウトをインポートできます。



次に、この機能を使用して、リアルタイムプレビュー、階層エディター、および WorkWithPlus が提供するすべての機能を使用して、各パネルまたは Web パネルを開発するためのレイアウトのインスタンスを作成します。



別のパターンからの移行

Web フォームに別のパターンまたはデザイン設定が適用されている KB がある場合、この機能を使用すると、レイアウトを維持したまま移行できます(画面上の変数、アクション、グリッド、テーブルなど)。

作業中のプロジェクト

プロジェクトで WorkWithPlus を使用しておらず、作業中のプロジェクトで使用を開始する場合は、デザインシステムウィザードを実行してデザインシステムを選択し、WorkWithPlus を使用せずに作成したパネルまたは Web パネルで変更を加える必要があるため、インスタンスを作成して作業を続行し、WorkWithPlus を使用して作成した新しいパネルまたは Web パネルをすべて作成します。



複数のリストビュー

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade#1 を使用すると、簡単な方法で複数のビューを持つリストを作成できます。

Product
Developer Menu > Product

Insert Export Select columns

	Id	Image	Name	Price	Category
✎ ✕	1		Compresor Hp	\$ 6,990	Electrodomesticos
✎ ✕	2		Tendadero de Pie Extensible	\$ 1,416	Hogar
✎ ✕	3		Termo Acero Inoxidable	\$ 2,387	Otros
✎ ✕	4		Antena para Tv Digital	\$ 445	Hogar
✎ ✕	5		Xiaomi Note 11 Pro 128gb	\$ 359	Tecnologia
✎ ✕	6		Smart Tv Samsung 2022 43" 4k Uhd Contro	\$ 549	Tecnologia
✎ ✕	7		Notebook Gamer Hp Ryzen 7	\$ 839	Tecnologia
✎ ✕	8		Heladera inverter no frost	\$ 659	Electrodomesticos
✎ ✕	9		Batidora de pie Nappo NEA-012 negra y gr	\$ 1,027	Electrodomesticos
✎ ✕	10		Máquina de coser recta Singer SM024-RD p	\$ 190	Electrodomesticos
✎ ✕	11		Jarra eléctrica Punktal PK-3115 JP blanc	\$ 26	Electrodomesticos

WorkWithPlus for Web copyright

これを実現するために、[List data]という名前の新しいノードがあり、そこにリストに必要なすべてのビューを追加します。

WorkWithPlus

Apply this pattern on save

List will multiple views (Transaction: Property)

Selection (Property)

- TableMain
 - Panel: Options
 - TableHeaderContent
 - TableActions
 - TableRightHeader
 - Standard Action (ManageFilters)
 - Standard Action (SelectListView)
 - TableFilters
 - Orders
 - Order (Short Description)
 - PropertyShortDescription
 - Full text filter
 - Advanced Filters Container
 - List data
 - Grid
 - Action Group
 - Standard Action (Update)
 - Standard Action (Delete)
 - PropertyId
 - PropertyType
 - NeighbourName
 - PropertyShortDescription
 - PropertyPrice
 - PropertyPhoto
 - Free style grid
 - Grid layout: TableCardBigImage
 - CardImageMain (CardBigImage)
 - Free style grid
 - Grid layout: TableCardSmallImage
 - CardImageSmall (CardSmallImage)
 - Web Component
 - Parameters

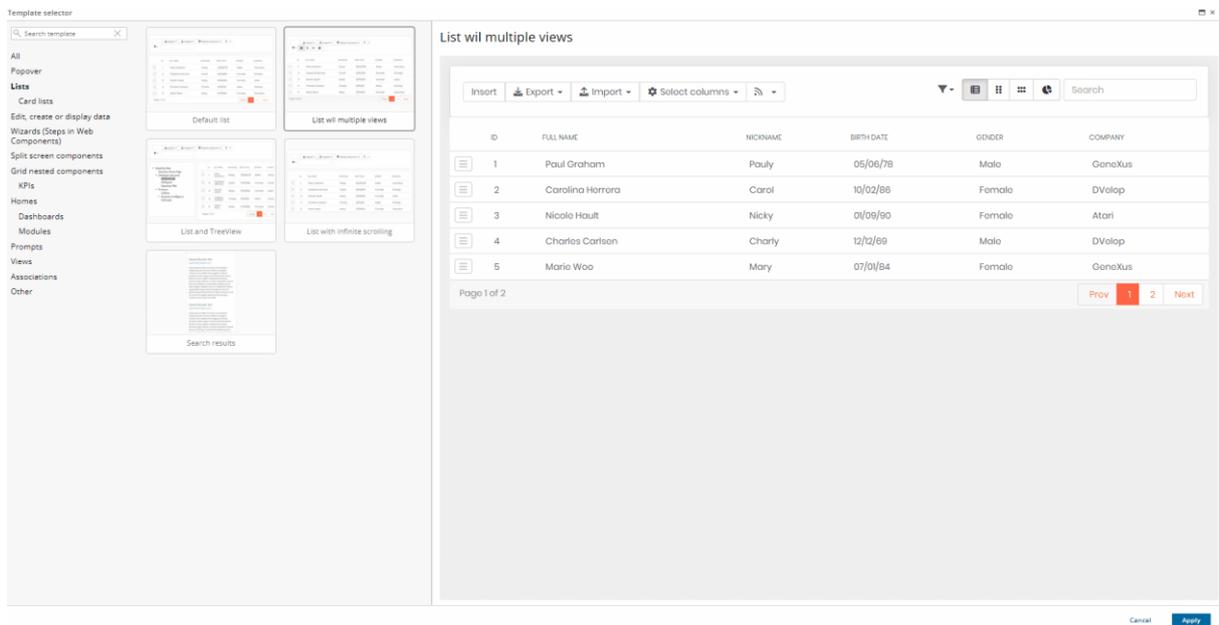
Preview Size: Medium

Views selector

Views

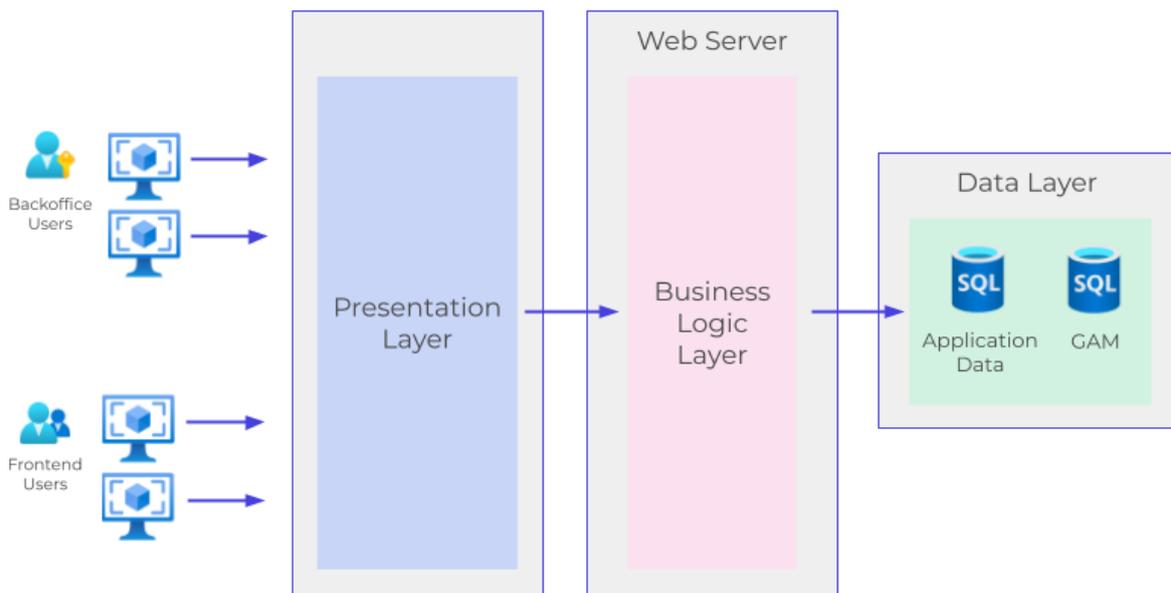


また、すでに複数のビューがある新しいテンプレートを選択することもできます。テンプレートをカスタマイズしたり、複数のビューを持つ新しいテンプレートを作成したり、このテンプレートに基づいてオブジェクトをカスタマイズしたりすることで、新しいビューの追加や一部のビューの削除が可能です。



WorkWithPlus のサービスレイヤー

一部の企業では、プレゼンテーションレイヤーとデータアクセスレイヤーを分離して、3つのレイヤーでアプリケーションを開発する必要があります。





この新しいバージョンの WorkWithPlus for Web は、多くの機能を自動化し、Web フォーム上で直接項目属性を使用して、アクセスしているのと同じグリッド機能を備えた、この種のアプリケーションを開発することができます。

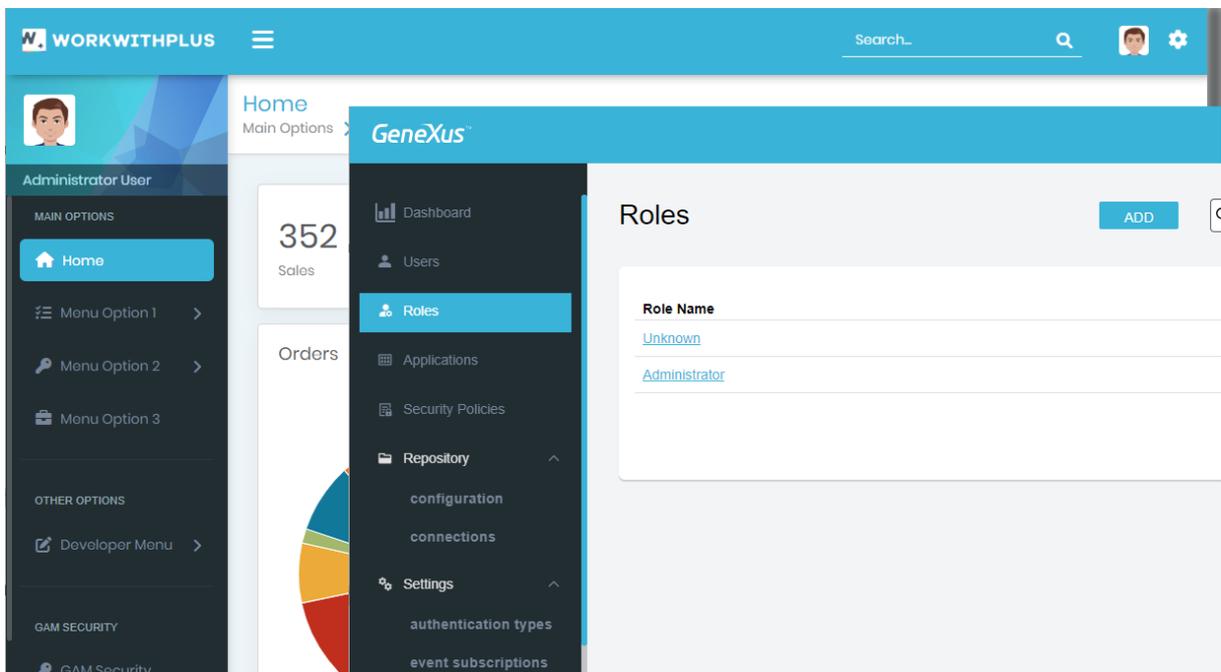
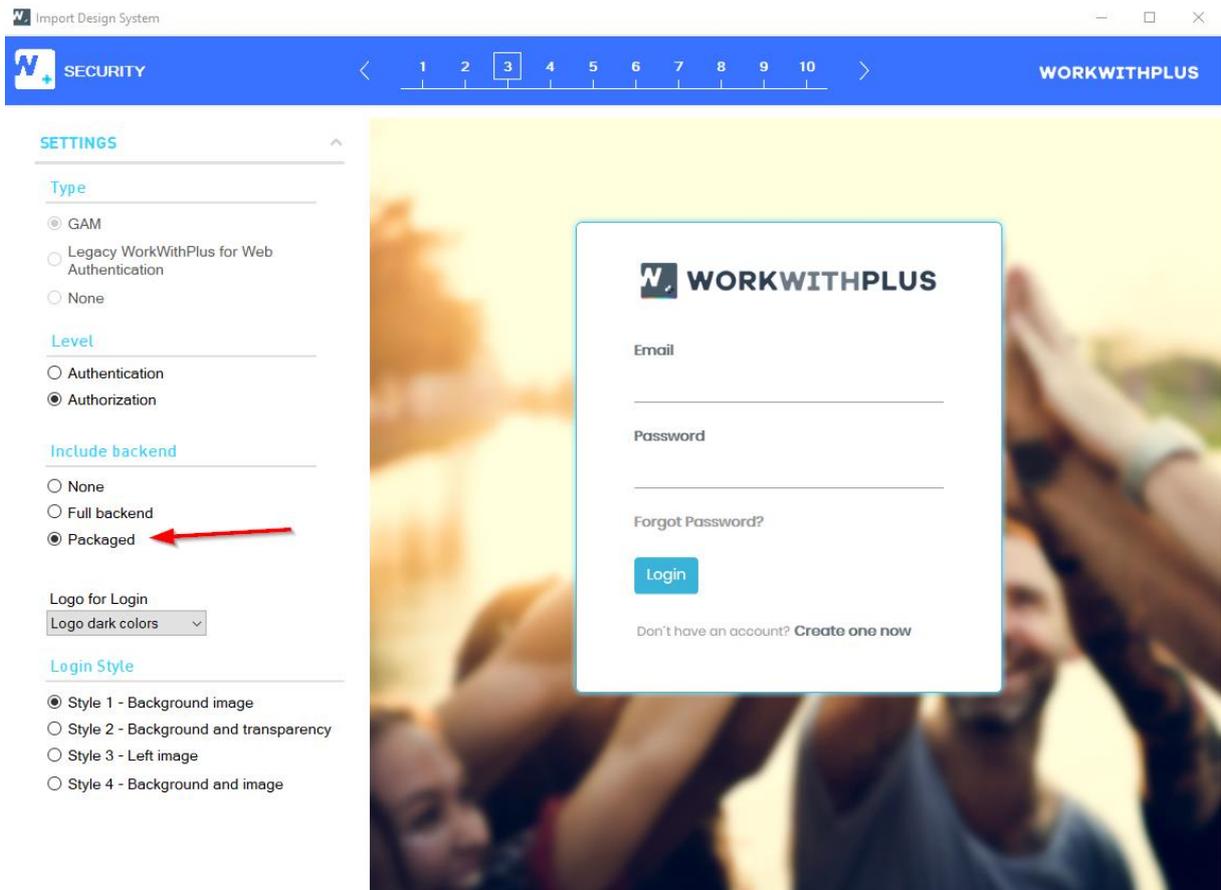
この機能の詳細については、次のリンクを参照してください: [WorkWithPlus Services Layer](#)

パッケージ化された GAM バックエンド

新しいバージョンでは、すべてのバックエンド オブジェクトをインポートする必要がなく、アプリケーションのデザインシステムと同様の外観と操作性を備えた GAM セキュリティを使用できるようになります。

パッケージ化された GAM バックエンドは、そのオブジェクトがソースにパッケージ化されているため、KB に新しいオブジェクトをインポートしません。パッケージ化された GAM を使用する利点は、そのオブジェクトがコンパイルされないため、[すべてリビルド] などのコンパイルプロセスを実行する時間が短縮されることです。すべての画面とオブジェクトをインポートするフル バックエンド オプションとの違いは、この最後のオプションのコンパイル時間が長くなることです。

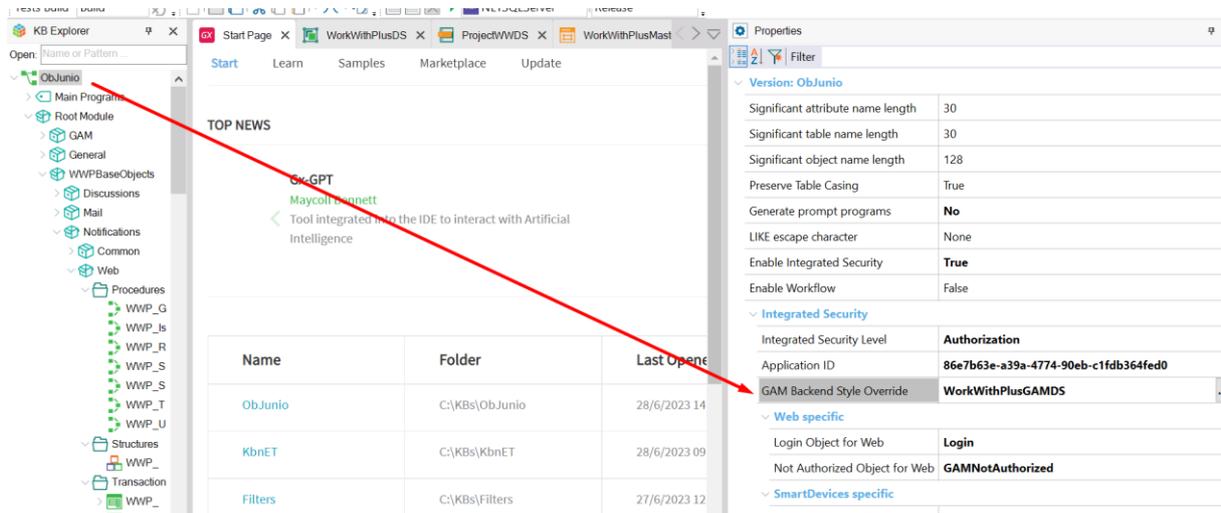
デザインシステムウィザードを実行すると、ステップ 3 に [バックエンドの使用] という名前の新しいプロパティがあり、この機能を取得するためのオプションが [パッケージ] です。



この [パッケージ] オプションはオブジェクトをインポートしないため、使用可能な Web パネルがないことから、オブジェクトをカスタマイズすることはできませんが、外観と操作性を変更することは可能です。バックエンドのスタイルを変更するために、GeneXus は [GAM Backend Style Override] プロパティを追加します。



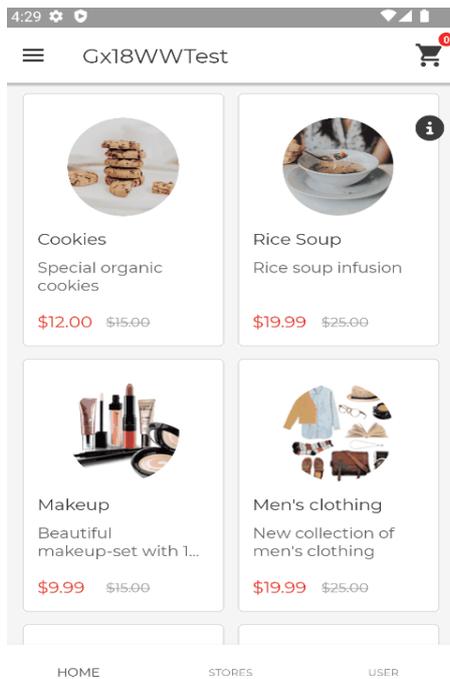
<https://wiki.genexus.com/commwiki/servlet/wiki?51754,GAM+Backend+Style+Override+e+property>



前の画像で示すように、WorkWithPlus はパッケージ化されたバックエンドの外観をカスタマイズするために Design System オブジェクトを割り当て、ウィザードの実行時に選択されたデザイナーと同様の外観を与えます。

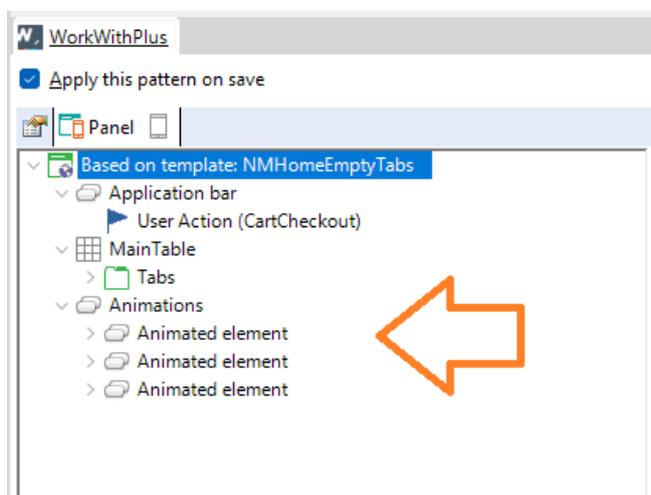
アニメーション要素

WorkWithPlus for Native Mobile を使用すると、ユーザーは任意のパネルにいくつかの事前定義されたアニメーションコンポーネントを簡単に追加できるため、アプリケーションの動作とユーザーエクスペリエンスを迅速に改善できます。



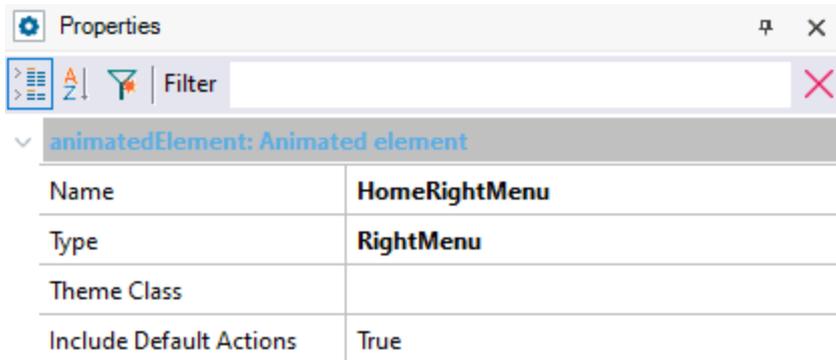
Animated Elements ノード

アニメーション化されたエレメントは、[Animations]という名前の階層エディターの新しい種類のノードに設定されます。[Animations]ノードには、その下のパネルに含まれるすべてのアニメーション要素が保持されます。新しいアニメーション要素を追加するには、次のように選択します：[追加] -> [AnimatedElement]



Animated Element のプロパティ

[AnimatedElement]ノードには次のプロパティがあります。

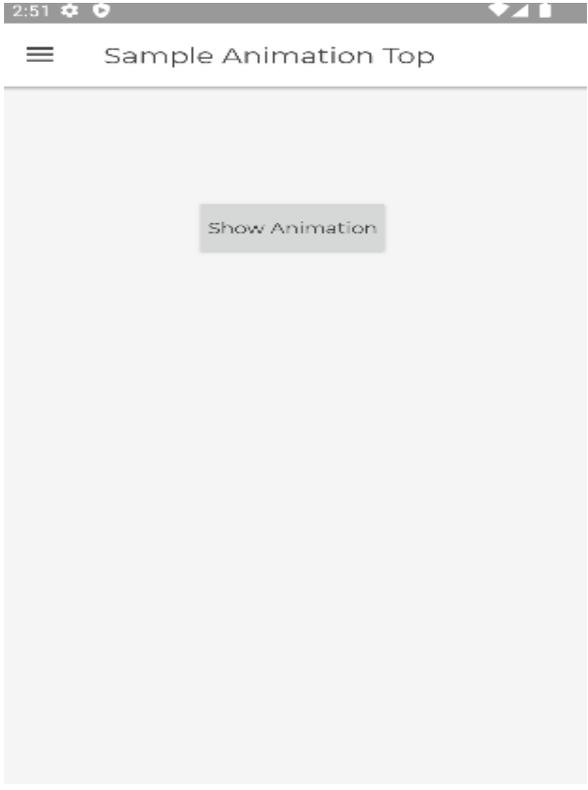


animatedElement: Animated element	
Name	HomeRightMenu
Type	RightMenu
Theme Class	
Include Default Actions	True

- **Name:** アニメーションの名前は、生成されたすべてのテーブル、イベント、サブルーチンに名前を付けるために使用されます。例：Sub 'HomeRightMenu_Show'
- **Type:** アニメーション要素のタイプによって、初期位置と適用されるアニメーション効果が決まります。アニメーション要素の種類については、以下で確認できます。
- **Theme Class:** このプロパティは、アニメーションの外部テーブルのテーマのプロパティを変更するために使用できます。アニメーション関連のプロパティを上書き保存すると、アニメーション要素が正しく動作しなくなる可能性があることを考慮してください。
- **Include Default Actions:** このプロパティを使用すると、自動動作（コンテンツテーブルがタップされたときに起動するアニメーションの非表示など）をオフにすることができ、ユーザーがアニメーションの UI を完全に制御できるようになります。

Animated Element のタイプ

ユーザーは、要素をアニメーション化するために、次の定義済みタイプのいずれかを選択することができます。

<p>TopNotification</p>	<p>アニメーション化されたテーブルが画面上部から降りてきます。この種のアニメーションは、カスタマイズ可能な通知をユーザーに表示する方法として使用されるように設計されています。</p>	
<p>CenterMessage</p>	<p>アニメーション化されたテーブルが中央に表示されます。カスタマイズ可能なメッセージをユーザーに表示する方法としても設計されています。</p>	

BottomActionSheet	<p>アニメーション化されたテーブルが画面下部から現れます。</p> <p>このアニメーション要素は、追加のアクションを表示するために設計されました。</p>	
RightMenu	<p>より多くのアクション、またはユーザーに二次的なメニューを表示する方法として設計されています。この要素には、「常に表示」されたままになるアイコンが表示され、ユーザーがそれをタップすると、右側から新しいテーブルが拡張されます。</p>	

上記のすべてのケースで、暗いオーバーレイテーブルが表示され、ユーザーはテーブルの外にあるものを選択できなくなります。

この機能を進化させながら、新しい種類のアニメーション要素と機能を追加していきます。

Animated Element のコンテンツ

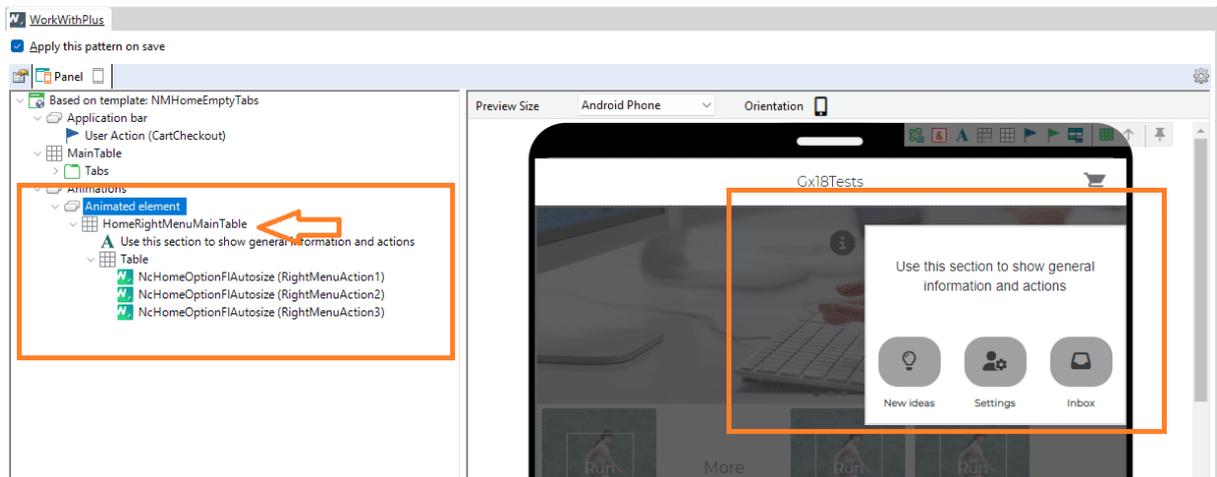
すべてのアニメーション要素にはメインテーブルが含まれており、ここでユーザーはアニメーションコンテンツをカスタマイズできます。

このテーブルは、あらゆる種類のコンテンツ、テキストブロック、画像、項目属性、変数、さらに複雑なコンポーネントを受け入れます。

アニメーションのコンテンツに関する主な制限は、コンテンツが「auto grow(自動拡大)」できず、非表示になっているときに「collapse its space (スペースを縮小)」できないことです。この制限は、アニメーション要素内に「グリッド」を追加した場合にも適用されます。このような場合、アニメーション要素はコンテンツにスクロールを追加しようとします。

アニメーション要素のコンテンツが編集されている間、ライブプレビューで結果（アニメーション効果を含む）が表示されます。

要素の外側の要素を選択するだけで、アニメーション化された要素のプレビューを非表示にすることができます。



Detail Web Component の複数のアクション

WorkWithPlus の新しいバージョンでは、[Detail Web Component]タイプの複数のアクションをグリッドに追加することができます。

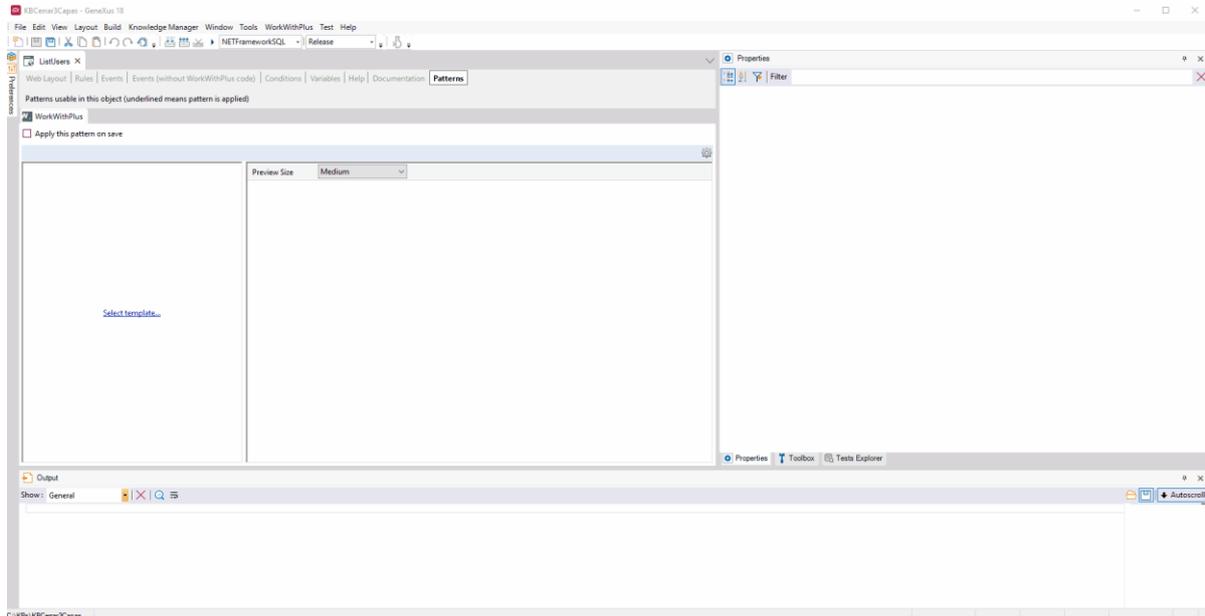
	Id ↑	First Name ▼	Last Name ▼	Full Name ▼	Nick Name ▼		
		12	Peter	Pan	Pan Peter	Pete	>
		13	Miguel Angel	Perdomo Perdomo	Perdomo Perdomo Miguel Angel	Maiky	>
		14	Leonardo	Chaibun	Chaibun Leonardo	Leo	>
		15	Michael	Loyarte	Loyarte Michael	Michy	>
		1015	Pau	Gallotti	Gallotti Pau	Paulita	>
		1016	sofia	maiolo	maiolo sofia	sofiss	>
		1017	Ana	Lopez	Lopez Ana	Annie	>
		1018	Eugenia	Alvarez	Alvarez Eugenia	Euge	>
		1019	Felipe	Herrera	Herrera Felipe	Feli	>
		1020	Matias	Castro	Castro Matias	Mati	>

複数の Detail Web Component を持つには、アクションを作成し、そのプロパティのタイプを [DetailWebComponent] に設定するだけです。

The screenshot shows the WorkWithPlus Patterns editor interface. The left pane displays a tree view of the application structure, including a 'Default list (Transaction: Person)' and a 'Grid' component. Two red arrows point to 'Standard Action (DetailWebComponent)' entries within the 'Action Group' and 'Grid' sections. The right pane shows a preview of the grid with columns: Id, First Name, Last Name, Full Name, Nick Name, Id, and C. The grid contains several rows of data, and the bottom of the preview shows 'Page 1 of 2'.

外部オブジェクトに基づくグリッド

外部オブジェクトに基づいてグリッドを作成する機能が追加されました。

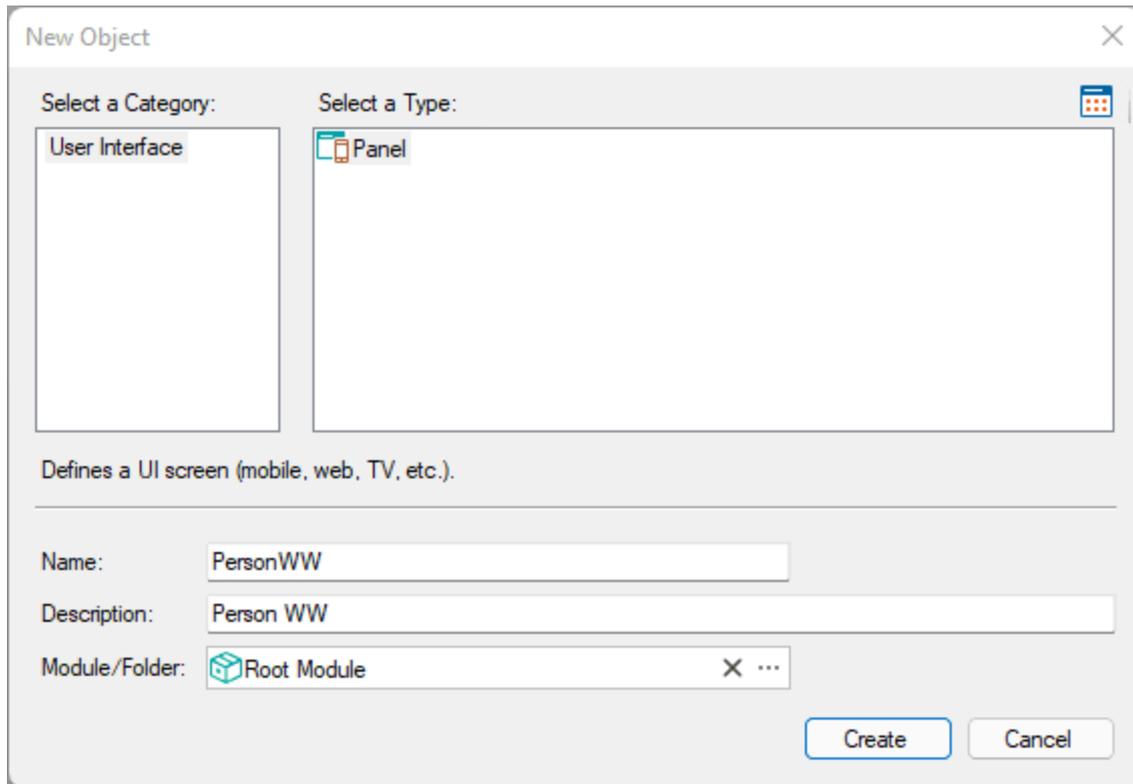


トランザクション用の WorkWithPlus for Native Mobile

WorkWithPlus for Native Mobile はあらゆるトランザクションに適用でき、ユーザーはリスト、ビュー、データ入力とプロンプトの作成、およびそれらの間のすべての相互作用を含む完全な「Work With」エクスペリエンスを生成できます。

満たさなければならない唯一の要件は、トランザクションをビジネスコンポーネントとして有効にすることです。

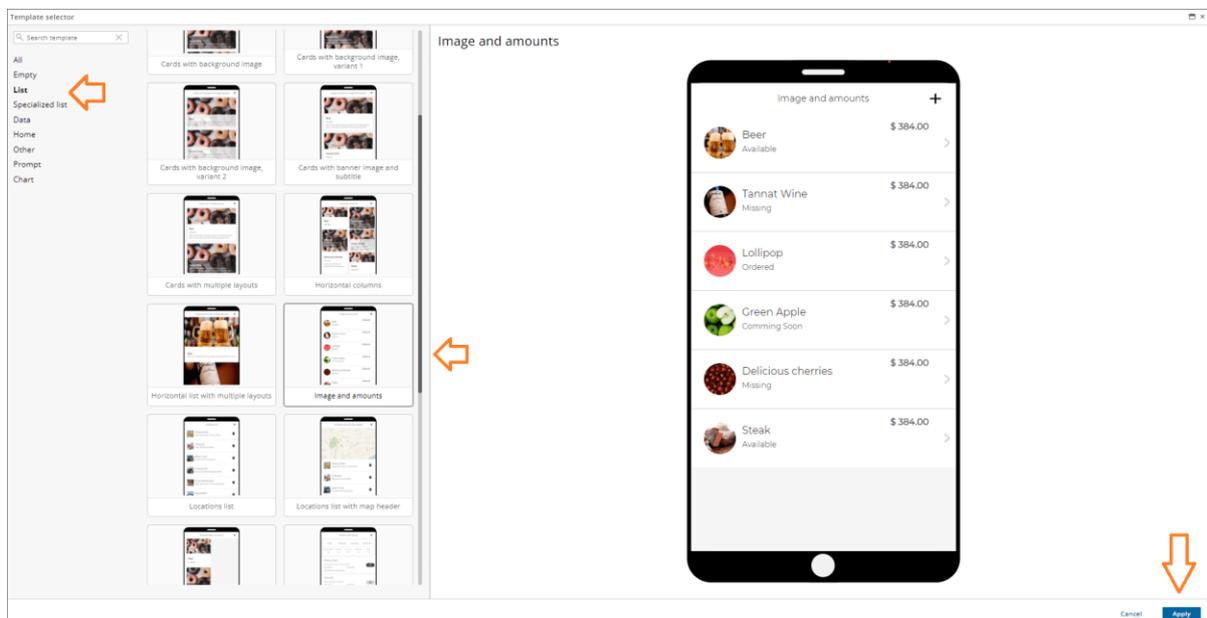
トランザクションを介して WorkWithPlus for Native Mobile を有効にするには、最初にベースパネルを作成する必要があります。ベースパネルは、「Work With」のメインエントリーになります。通常、これは List パネルになります。



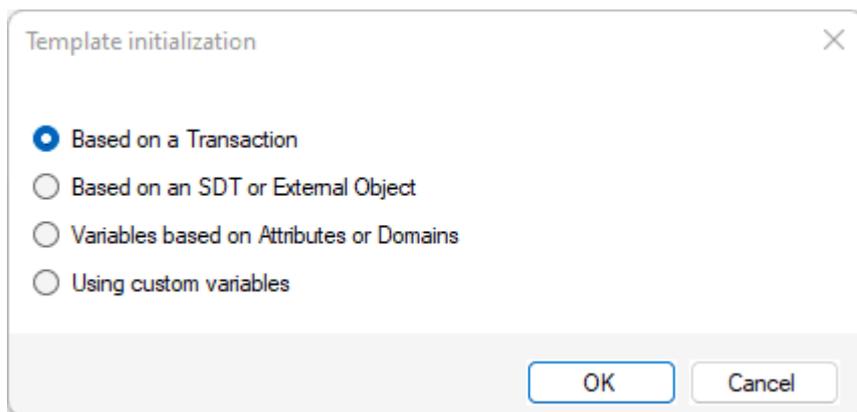
The 'New Object' dialog box is shown with the following details:

- Select a Category:** User Interface
- Select a Type:** Panel
- Defines a UI screen (mobile, web, TV, etc.):**
- Name:** PersonWW
- Description:** Person WW
- Module/Folder:** Root Module
- Buttons:** Create, Cancel

ベースパネルを作成したら、[Patterns] > [WorkWithPlus] タブと選択し、[テンプレートを選択] をクリックします (自動的にプロンプトが表示されない場合)。[テンプレートセクター] で、[List] テンプレートのいずれかを選択して続行します。

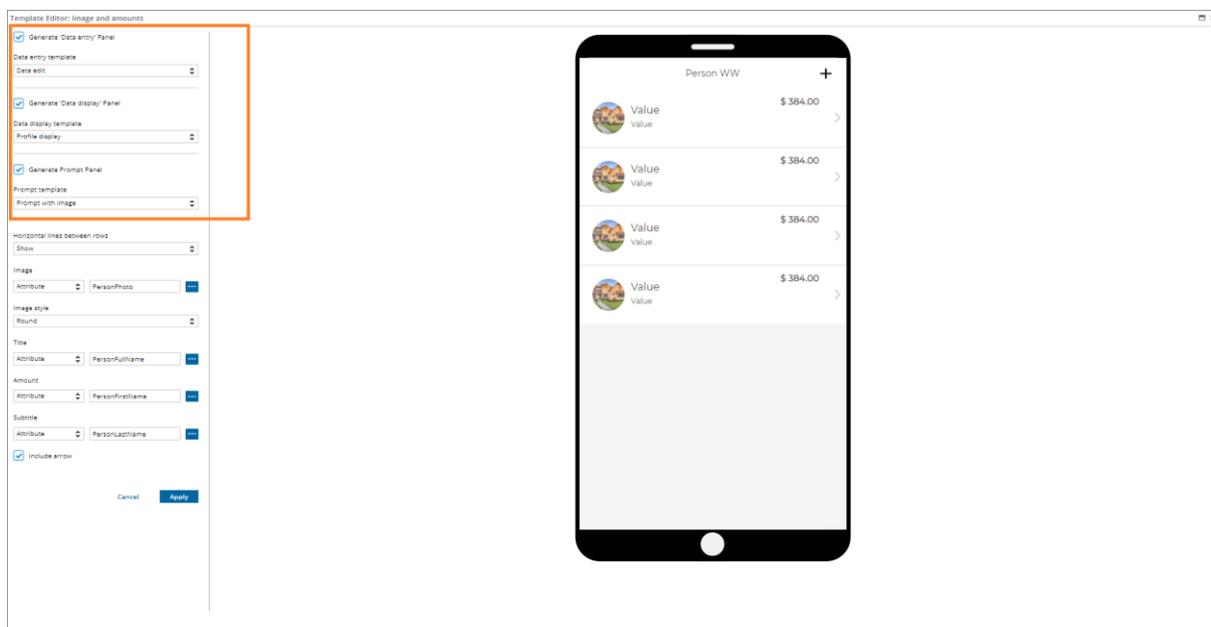


[テンプレートの初期化] ダイアログで、[トランザクションに基づく] を選択します。

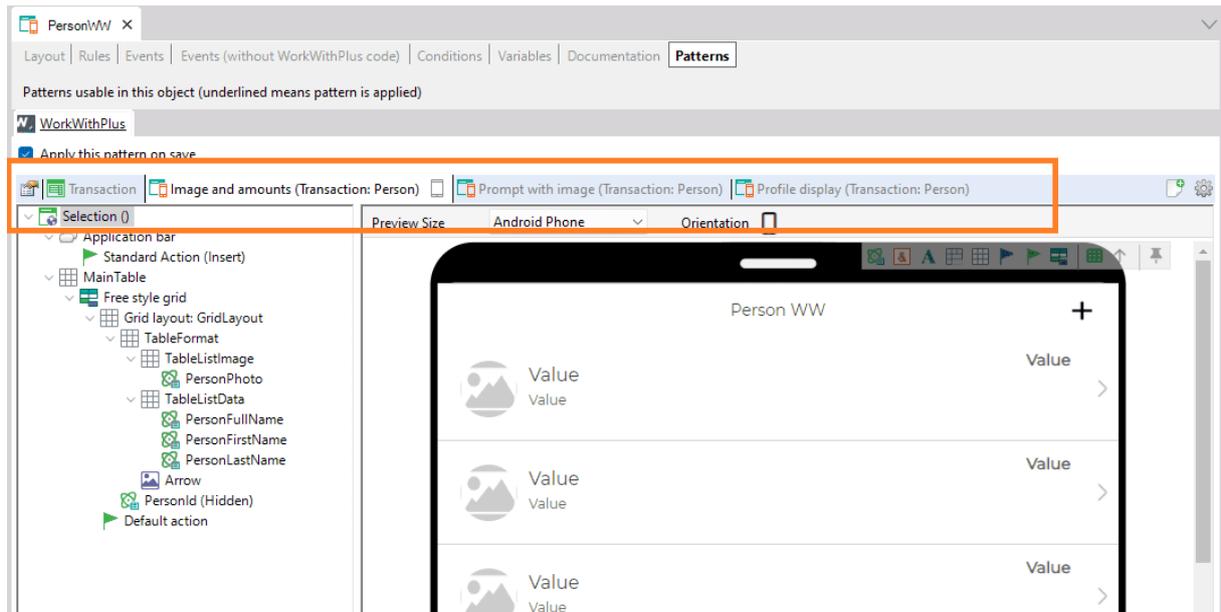


その後、従来の [テンプレートエディター] ダイアログが表示されますが、今回は新しいセクションが表示され、各「WorkWith」セクションに適用するテンプレートを選択できます。

- **「データ入力」パネルを生成:** データ入力に使用するテンプレートを選択します(追加、更新、削除)。
- **「データ表示」パネルを生成:** 「View」に使用するテンプレートを選択します。これには、データ表示と、サブレベルや外部キーなどのすべての関連タブが含まれます。
- **プロンプトパネルを生成:** このトランザクションに関連付けられたプロンプトのテンプレートを選択します。



選択したオプションとカスタマイズ内容を確定すると、生成されたすべてのセクションを含む WorkWithPlus インスタンスが作成されます。



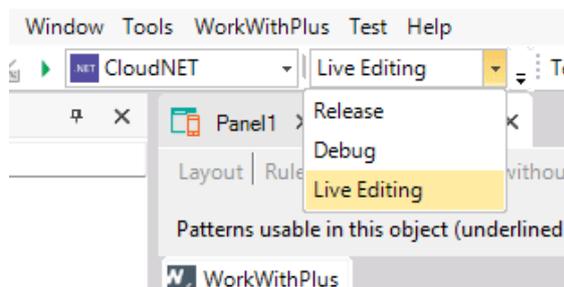
保存すると、WorkWithPlus によって関連するすべてのパネルが生成され、ベースパネルとして選択したパネルの下に配置されます(この例では PersonWW パネル)。

- PersonWW
 - WorkWithPlusPersonWW
 - PersonWWData
 - PersonWWEmailPersonSplitTabsWC
 - PersonWWEmailPersonSplitWC
 - PersonWWEmailWC
 - PersonWWGeneral
 - PersonWWPersonSplit
 - PersonWWPersonSplitTabs
 - PersonWWProjectWC
 - PersonWWPrompt
 - PersonWWView

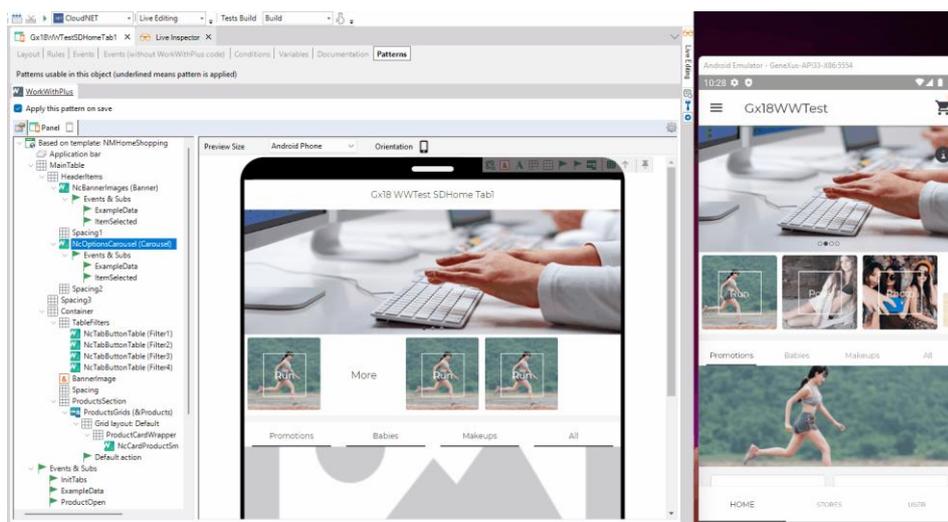
ライブ編集

WorkWithPlus は GeneXus ライブ編集機能と統合されているため、ユーザーは階層エディターでの変更が実行時に最終的なアプリケーションにどのような影響を与えるかを簡単に確認できます。

ライブ編集との統合は自動的に行われるため、ユーザーは特別な手順を実行する必要はなく、[Live Editing] をオンにするだけで、通常どおり WorkWithPlus インスタンスで作業を続行できます。



WorkWithPlus が「ライブ編集」の実行を検出すると、階層エディターの変更は実行時にすぐに反映され、GeneXus ネイティブのレイアウトエディターを使用して作業している場合と同様に、インスタンスをコンパイルしたり保存または適用したりする必要はありません。このようにして、パネルを保存せずに、コントロールやコンポーネントを追加、削除、変更し、実行時にどのように動作するかを確認できます。



GAM が含まれていない KB での Notifications と Discussions

モジュールの使用

Notifications と Discussions のモジュールは、GAM が含まれていない KB で使用できるようになりました。そのため、セキュリティが強化された KB でも、セキュリティなし (または開発者が作成したセキュリティ) の KB でも使用できます。

Advanced Security (Web セキュリティ用のレガシーWorkWithPlus) の場合、WorkWithPlus for Web は必要なコードを自動的に追加するため、開発者は GAM を使用する場合と同じように動作します。[セキュリティ オブジェクト コードの更新]オプション ([Web 設定] > [セキュリティ] > [セキュリティタイプの変更] > [Advanced]) と、[メタデータに反映] ([WorkWithPlus] > [メタデータに反映]) も実行する必要があります。

セキュリティなしの場合は、ユーザー情報とロール情報を取得する方法を定義するために、次のオブジェクトを満たす必要があります。

- **WWP_GetLoggedInUserId:** ログに記録されたユーザー ID を含む変数 &WWPUserExtendedId を返します。
- **WWP_GetLoggedInUserRoles:** ログインしたユーザーからのロールを変数 &WWPSubscriptionRoleId で返します。
- **WWP_GetUsersFromRole:** パラメーターで受け取ったロールを持つユーザーのコレクションを返します。

ExportCSV アクションの [Trim Numeric Values] プロパティ

[Web 設定] > [アクション] > [ExportCSV] に新しいプロパティが追加されました。このプロパティを使用すると、CSV にエクスポートする数値をトリミングするかどうかを定義できます。

Event Subscriptions を使用した拡張ユーザーの処理

WorkWithPlus 15 Upgrade #1 以降、GAM で "Extended User" トランザクションを使用するモジュールをインポートする場合、GAM ユーザーと拡張ユーザー間の同期は GAM Event Subscriptions によって行われます。したがって、GAM は、GAM の API 内でユーザーが変更されるたびに、同期するイベントを自動的にスローします。

これはコードによって行われ、"Extended User" トランザクションのインポート時にインポートされます。また、サブスクリプションイベントの作成は、[WorkWithPlus] > [メタデータに反映] の実行時に行われます。

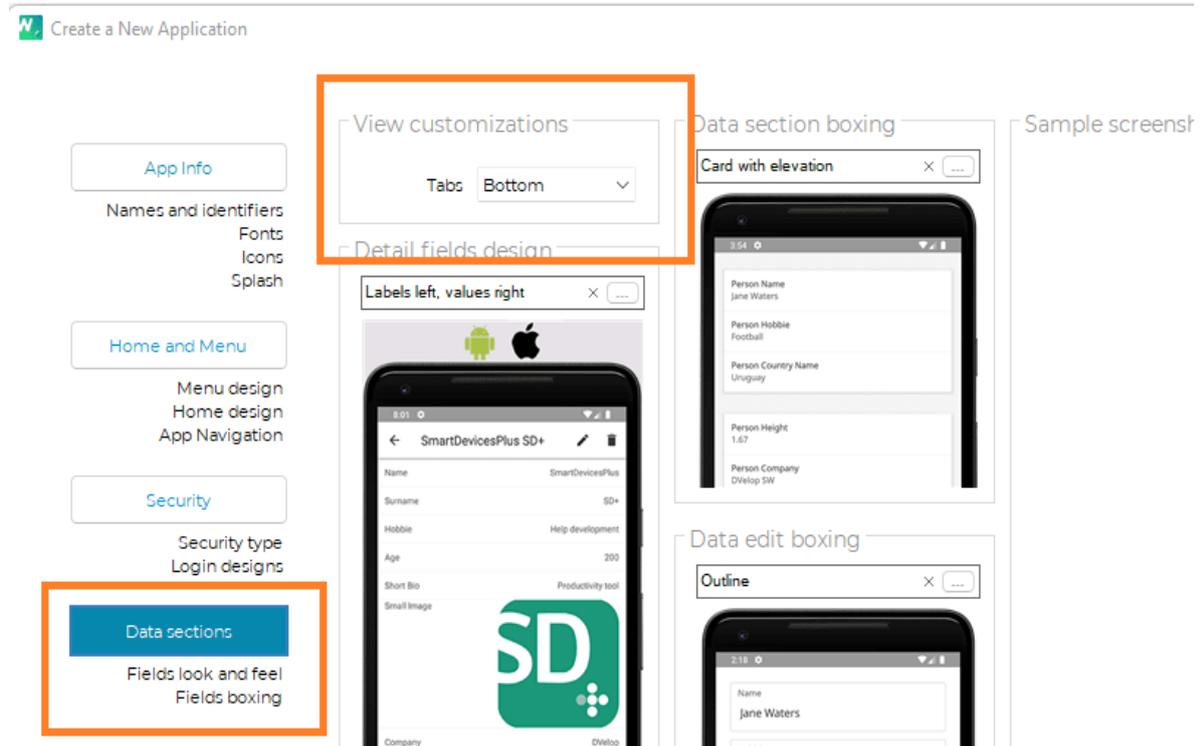
GAM User Data の冗長化

WorkWithPlus は、ユーザーの情報にアクセスするパフォーマンスを向上させるために、GAM ユーザーの情報を冗長化しました。これは "Extended User" トランザクションで行われ、このトランザクションがインポートされる時 (デザイン システム ウィザードで開発者がこのトランザクションを使用するモジュールを選択したとき) に適用されます。

Native Mobile のデザイン システム ウィザードの改善

新しいデザインオプション: タブ位置のカスタマイズ

この新しいオプションを使用すると、ユーザーはトランザクション上でビューを生成するときにタブの位置をカスタマイズできます。タブは [上部] または [下部] に配置できます。



ユーザーの最後のカスタマイズ

Upgrade #1 の時点では、Native Mobile のデザイン システム ウィザードは、ユーザーがウィザードで選択したカスタマイズを含むファイルオブジェクトを KB に作成します。

このファイルは、ユーザーが行った選択を失うことなくデザインを「再インポート」したり、ユーザーと KB 間でカスタマイズを共有するイベントに使用したりできます。

このファイルは、ユーザーのデザインシステムを自動的に更新し、新しい機能を含めるために、将来のアップグレードでも使用されます。

Create a New Application

Application title
Gx18Tests

Connectivity
Online

Security
Enable GAM authorization

Color and Icon

Last wizard executed by the user includes the following choices:

Application created with:
- Menu: Yes, NMMenuWithUser2
- Home: Yes, NMHomeShopping, with tabs
- Security: GAMAuthorization, with login NMLoginBackImage

The design:
- Based on the predefined design: E-Commerce

生成されたオブジェクトを変更せずにデザインを更新

デザイン システム ウィザードを複数回実行すると、新しいオプションが表示され、ユーザーは生成されたオブジェクトを変更せずにデザインシステムとテンプレートを更新できるようになります。

WorkWithPlus for Native Mobile

Previously generated objects found

If you continue, WorkWithPlus for Native Mobile will re-import previously created design systems and also all templates, stencils, APIs and procedures inside WorkWithPlus for Native Mobile module.

The following objects were found in the Knowledge Base:

- Gx18TestsSD

Select whether they should be overwritten or new ones must be created.

Overwrite existing objects

Create new objects

Update Design but keep generated objects

Cancel Create App